

あなたと議会を結ぶ情報誌

議会だより



はこね

令和元年8月
No.197

議会報告会 開催

6月3日 山崎集会所

主な内容

- 6月定例会 審議結果等……………P 2～3
- 一般質問……………P 4～8
- 議会報告会……………P 9
- モニターさんからの意見……………P 10
- 委員会報告……………P 10～11
- 我が家の自慢 他……………P 12

5月31日 仙石原文化センター

専決処分

- 1. 箱根町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
 - ※ 消費税率引上げに合わせ、所得の少ない被保険者に対する軽減措置
- 2. 平成30年度箱根町一般会計補正予算（専決第3号）について
 - ※ 路面凍結防止剤散布のため、1,478万円を追加

条例制定(整備条例)

- 1. 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

条例改正

- 1. 箱根町町税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 2. 箱根町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 3. 箱根町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
 - ※ 不特定多数の者が利用する防火対象物において、スプリンクラーなどが設置されてない建物について利用者に公表する

補正予算

令和元年度箱根町一般会計補正予算（第1号） ※質疑の抜粋は隣のページに掲載

補正額 1億3,208万円追加 ⇒ 補正後の総額 105億4,708万円

- 主な内容**
- ①プレミアム付商品券事業 7,309万7,000円
 - ②信用保証料補助事業 240万円
 - ③経営安定緊急融資事業 3,405万円
 - ②③大涌谷周辺の火山活動の活発化を受け、町内中小企業者に対して緊急融資を行うための預託金と融資に伴う信用保証料補助、利子補給などを行うためです。

工事請負契約

①工事名、②落札業者、③契約金額

- 1. ①金時公園トイレ建替工事、②共栄建設、③5,885万円
- 2. ①清掃第1施設プラント施設補修工事、②神鋼環境ソリューション東京支社、③5,940万円
- 3. ①箱根中学校屋内外運動場等大規模改修工事、②勝俣組・上野工務店共同企業体、③6億7,980万円
 - ※ 体育館と運動場の改修を行います。
- 4. ①湯本分署建設工事、②勝俣工務店・三和建设共同企業体、③5億3,350万円
 - ※ 役場本庁舎下への移転に伴う建て替え工事です。

物件供給契約

①工事名、②落札業者、③契約金額

- 1. ①小型動力ポンプ付き積載車（第2分団第4部及び第5分団第2部）、②畠山ポンプ製作所、③2,736万8,000円
- 2. ①消防ポンプ自動車（第9分団）、②モリタ東京営業部、③2,492万6,000円

人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
 - 小嶋 章司さん 塩川 嘉昭さん
- 人権擁護委員候補者の推薦について
 - 鈴木 美貴さん 勝俣 亘さん

専決処分とは…地方自治法の定めにより、緊急時で議会を招集する時間が無い場合など、町長が予算や条例など、議会に諮らずに決定し処理することができ、処分後に議会の承認を得るもの。

6月
定例会

会期
6月14日から
25日まで

承認
専決処分
2件

可決(11件)
条例制定
(整備条例)
1件

条例改正
3件

補正予算
1件

工事請負契約
4件

物件供給契約
2件

同意
人事案件
4件

一般会計補正予算（第1号）で行われた質疑

(秋季販売予定のプレミアム付商品券と大涌谷噴火警戒レベル2引き上げに関する経済対策)

- ◎：商品券購入には購入対象者に決まりがあるのか。
- △：非課税世帯と2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた子どもを持つ世帯が対象となる。
- ◎：プレミアム付商品券の利用できる場所は。
- △：町内に店舗を有する事業所に声をかけている。
- ◎：町内に大型スーパーがないなど、既存の店舗で必要なものが購入できないのでは。
- △：町内の事業所を使っていただくことで、経済効果も考慮した。コンビニエンスストアなどにも登録していただけるよう働きかけたい。



- ◎：経営安定緊急融資事業対象者の利用件数の上限は。
- △：安定緊急融資の部分は50件、信用保証料の部分は、当初予算の倍と4年前の実績に見合った数字を計上した。
- ◎：利率を以前より借りやすい利率にしていくべきでは。
- △：銀行と調整をしている段階であり、4年前は1.6%であり、前回よりは若干低い利率を考えている。
- ◎：融資を受けるための申請方法は。
- △：町指定金融機関窓口に行って相談するか、町観光課に問い合わせさせていただきたい。

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案番号	議案名	議決結果	山田	勝俣	勝俣	川口	勝俣	小川	村野	川野	山田	稲葉	遠藤	石川	折橋	沖津	
			和江	公好	泰彦	延明	剛一	鶴雄	由紀子	成宣	親太郎	秀則	栄	尚道	弘幸		
27	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	箱根町町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
31	令和元年度箱根町一般会計補正予算（第1号）	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※2 ○：賛成 ×：反対 —：議長は採決に参加しません。

質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。

なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
勝俣 公好	・箱根町と南足柄市を結ぶ道路について ・箱根町と南足柄市を結ぶ道路における路線バスの運行について	4
石川 栄	・ごみ処理広域化の検討状況について ・箱根町自殺対策計画の今後の進め方について	5
折橋 尚道	・2019～2022年度箱根町教育方針について	6
村野由紀子	・終活について ・がん患者の支援について	
遠藤 秀則	・防災における外国人への対応について ・児童公園等子どもの遊べる場所における遊具について	7
川端 祥介	・大涌谷警戒レベル2の対応等について ・箱根町消防職員の逮捕について	
勝俣 剛一	・固定資産税について	8
稲葉親太郎	・人口減少並びに定住化対策について	
山田 和江	・大涌谷周辺の火山活動について ・交通問題改善について ・温水プールの10月から6ヶ月間の閉鎖について	

※ **Q** は議員の質問、 **A** は町側の回答です。



箱根町と南足柄市を結ぶ道路における路線バスの運行を

町 — 地域の意見や、関係機関と研究調査し検討する

A 町長 本路線に路線バスが運行されるようになれば、観光客の回遊性がより向上し、県西地域の観光振興に役立つとともに、市民の通勤、通学や病院の受診等における生活の利便性が高まると町と

Q 路線バスの運行により観光客の回遊往来が深まれば、両市町の振興になる。南足柄市周辺に高校があり、通学時間が短縮できる。両市町から通勤している方がおり、バス通勤ができる。松田町に県立足柄上病院があり、車の運転が出来ない方がバス利用し、足柄上病院で診察してもらえば、診察券があることで救急車利用の時、受け入れてもらう可能性が高くなり、救命に役立つ。仙石原にバスターミナルが建設予定ですが、このターミナルに南箱バスが入ることから仙石原が振興する。以上のことから、南箱道路に路線バスが必要と考えるが、町の考えは。



南箱道路を視察

しても考える。しかし、大型自動車が行き止まりであることから、路線バスの通行が可能かどうか、バス事業者等関係機関と検討する。また地域の意見等を伺いニーズの把握に努め、バスターミナルの整備など状況を見ながら検討する。



勝俣 公好 議員

ごみ処理広域化の検討状況は

町 — 令和6年度を目途にごみ処理広域化を進めていく



石川 栄 議員



新しく建設された湯河原町真鶴町衛生組合の最終処分場

Q 下郡のごみ処理広域化に向けた検討状況は。

A 町長 下郡の可燃ごみ(生ごみ等)処理については、湯河原町真鶴町衛生組合焼却施設の改良工事や24時間運転への変更により処理能力の向上を図り、町の焼却施設は廃止し中継施設に改修して共同処理を行うことで合意形成がされたもので、令和6年度開始を目標に検討している。

Q 湯河原町真鶴町衛生組合が再生工事を進めている焼却灰を埋め立てる最終処分場への町の関わり方は。

A 町長 湯河原町真鶴町衛生組合の最終処分場は、地下水に含まれるカドミウムが環境基準を超えていたことから埋め立てられた廃棄物を全量撤去し、ごみ処理広域化に必要な施設として国の交付金を活用し再生工事を実施したものである。

町としては保有する最終処分場は現時点で約7年使用可能のため、下郡の可燃ごみ共同処理開始にあわせ湯河原町真鶴町衛生組合最終処分場を利用する方向で検討する。

Q 町としてのごみ処理広域化に伴う施設整備に関する考え方は。

A 町長 昨年度広域化施設整備等基本調査を実施して可燃ごみを湯河原町真鶴町衛生組合焼却施設に持ち込むための方法について調査した結果、既存施設を活用して中継施設整備し、焼却炉・煙突は解体し、撤去後のスペースはごみ減量化を図るための剪定枝資源化設備に改良を検討する。

2019～2022年度箱根町教育方針の目指すところは

町 — 教育の基盤は継続し社会状況に応じた施策を展開する



折橋 尚道 議員



中学校の先生、かっこいい!!

Q 改正教育基本法施行から教育内容の変化と箱根町教育方針の教育的使命とは何か。

A 教育長 道徳が教科化され、小学校では英語が教科化されたこと。大学受験の英語で民間試験の導入が検討され、高校・大学等の受験で記述式の問題が大幅に増えること。教育目的は「人格の完成」であり、町の教育振興計画では、『先人からの文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根の郷土を愛し、貢献できる人』を育てることを教育目標としている。

Q 児童にとつての教科担任制は専門教科の学習意欲を促す効果に期待すると共に、教職員の働き方にも影響する。箱根は独自に幼・少・中一貫教育を行っているのですが、学校間で専門教員を他校へ移動するなどは、柔軟にできると思うが。

A 教育長 教科担任制は児童が複数の先生と出会うことができ、教員にとつては、異なる視点で児童を見取るメリットがある。年間にとり担当する方法や教科単元を担当する方法等、工夫しながら研究を始めた。このことは教職員の働き方改革にもつながるものである。一貫教育は、幼・保で中学校からの体育教員により専門的な指導を行い、中学校教員が小学校を兼務して、音楽の授業を実施した。学校間同士で教員の交流があるなど着実に効果を上げている。

終活支援を！

町 — エンディングノートなど先進事例を参考に検討する！

A 町長 高齢者がどのような葬儀を希望しているかなど、安心して最期を迎えられる対応は素晴らしい。調査・研究し、検討する。

Q 誰にどのように自分の最期を託していくのか。亡くなった後、遺品などどうすれば良いのか。一人暮らしの方や身寄りのない方、身内と疎遠になっている方、また経済的に余裕のない高齢者の中には自身の葬儀や亡くなった後の不安を持っている方が多い。

A 「終活」とは、自らの人生の終わりに向けた活動の略語です。自分が亡くなった後の不安を解消し、安心した生活を送るために終活支援が必要。生前に終活に関する情報を届け出てもらい、死後に役立つような仕組みを作ることによって、将来への不安を軽減できると思うが、町の見解は。

Q 視察した綾瀬市のエンディングノート「人生いきいき手帳」は、自分、家族のこと、もしものときなど記入できる。群馬県渋川市では、元気に過ごすためのポイントも盛り込み、年齢制限なく、希望者全員に配っている。いろいろな事例を参考に検討し推進してほしい。

A 福祉課長 エンディングノートのような冊子については、他市町村の先進事例などを参考に検討する。



村野由紀子 議員

児童公園等子どもの遊べる場所における遊具は

町 — 遊具等安全対策を行い、利用状況等勘案、優先度の高い公園・広場から徐々に遊具等設置を進める

A 都市整備課長 撤去を行った公園は山崎、上河原、向山、小田原町、仙石原公園の5箇所。設置について

Q 直近の遊具の撤去・設置状況は。

A 町長 都市公園法に基づく公園・緑地12箇所、その他公園15箇所、計27箇所ある。

Q 町の管理する公園、広場の数は。

A 町長 都市公園法に基づく公園・緑地12箇所、その他公園15箇所、計27箇所ある。

Q 場の数は。

A 町長 都市公園法に基づく公園・緑地12箇所、その他公園15箇所、計27箇所ある。

Q 児童のいる保護者の方々から、公園・遊び場がなくなっている。子どもを遊ばせる場所がない。滑り台、ブランコ等、設置の要望があるが、子ども達が安心して遊べる場所について、どのように整備を行うか。

A 町長 子ども達が安心して遊べる場所として一番に考えられる身近なレクリエーションの場である公園や広場の整備については重要と考え、安全対策を行い、優先度の高い所から徐々に設置。

Q 町の管理する公園、広場の数は。

A 町長 都市公園法に基づく公園・緑地12箇所、その他公園15箇所、計27箇所ある。



遠藤 秀則 議員



A 環境整備部長 今後は、利用の少ない公園・広場は必要に応じ、位置づけの変更、廃止を含め検討する。

Q 宮川子どもの遊び場など現在設置されていない公園の今後の方針は。

A 都市整備課長 安全を第一に撤去等、安全対策を速やかにとっている。遊具等撤去や設置に関して周知が十分でなかった。今後周知方法も改めて検討する。

Q 遊ばせ楽しむ場所がないのは何が原因と考えるか。

A 都市整備課長 安全を第一に撤去等、安全対策を速やかにとっている。遊具等撤去や設置に関して周知が十分でなかった。今後周知方法も改めて検討する。

Q 遊ばせ楽しむ場所がないのは何が原因と考えるか。

A 都市整備課長 安全を第一に撤去等、安全対策を速やかにとっている。遊具等撤去や設置に関して周知が十分でなかった。今後周知方法も改めて検討する。

※ 宮川子どもの遊び場は宮城野の諏訪神社付近にあります。

レベル引き上げによる事業者支援・ジオミュージアムの現状・町職員の不祥事の再発防止対策



川端 祥介 議員

1. 大涌谷の噴火警戒レベル引き上げによる税の減免を検討せよ

Q 本年5月19日より実施されている、大涌谷の警戒レベル引き上げによる、事業者に対する固定資産税減免を検討すべきである。

A 町長 今後も警戒レベルが引き続き高いようであれば、町として固定資産税の減免を検討する必要がある。

2. 大涌谷のジオミュージアムは休館しているが、職員と事業活動はどのようにしているのか

Q 現在大涌谷にある、町経営のジオミュージアムは休館しています。そこで、職員の配置と事業活動はどのようにしているのか。

A 観光課長 事業活動は、引き続き区域外の、箱根ビジターセンターや、森のふれあい館などで、火山活動に



関する展示等を展開していきたい。

3. 消防職員の逮捕について
Q 消防職員が同僚に暴力を振るい、警察に逮捕された事件について住民はあきれかえっている。より一層の綱紀粛正と、再発防止を強化すべきである。

A 消防長 町長の訓示をうけ、今後消防として不祥事を再発させないよう綱紀を引き締め再発防止を徹底していく。

固定資産税 最近の地価公示価格の動向は

町 — 町内においては、まだ大半の地域で下落傾向



勝俣 剛一 議員

最近の地価の動向

地域	湯本	温泉	宮城野	仙石原	箱根
住宅	➡	➡	➡	➡	➡
商業	➡	➡	➡	➡	➡
別荘	—	➡	➡	➡	➡

※ ➡ : 上昇 ➡ : 横ばい ➡ : 下落傾向 — : 対象なし

Q 町内の最近の地価公示価格の動向は。

A 町長 国・県が行う地価調査地は町内で12箇所。地域ごとの動向については、左記表のとおりである。町全体の傾向としては、商業地の一部で上昇、住宅地では下落傾向に歯止めがかからない状況。

Q 平成30年は固定資産評価替えの年、土地下落傾向が町財政にどのように影響を及ぼしたのか。

A 町長 固定資産税のうち、大半の地域で下落傾向にあり、税額の減少は続いている。しかし、新築家屋や償却資産の伸びに支えられ、超過課税の継続により、令和元年は前年比1億4千万円の増を見込んでいる。しかし、その多くは宿泊施設等の新築が中心であり、一般家屋の更新は進まず、好景気による一時的な増収にとどまる可能性もあり、推移を見守る必要があると考える。



人口減少並びに定住化対策

町 — 粘り強く事業推進をしていく必要がある



稲葉親太郎 議員

Q 各事業所等において人口減少が起因している弊害はあるのか。

A 自治会組織や各種団体、各事業所等において人口減少が起因している弊害はあるのか。若者定住の促進について町を挙げて組織横断的に取り組んできたこれまでの経過は。町長 若者定住の施策に「地域における子育て支援」「子育てしやすい住環境」「園・小・中学校分離型一貫教育の推進」等、子育てや教育などを側面から行っている。直接的な定住化対策は「住みたいまち箱根推進事業」のなかでかねてより実施してきた住宅資金の利子補給制度や融資保証料補助制度に加え、平成28年度からは第2子以降の出産に対する「箱根っこ祝い金」、若者世帯を対象とした住宅取得補助、新婚世帯や転入する若者を対象とした民間賃貸住宅補助などを実施した。

Q 町長 人口減少が進んだ場合の具体的な影響の1つに、地域コミュニティの機能低下が挙げられ、町内会や自治会、消防団といった住民組織の担い手が不足し、共助機能が低下することにより、地域の防災力の低下も懸念されている。また、若年層の減少は、地域の歴史や伝統文化の継承にも影響を与え、地域の伝統行事などが続けられなくなるおそれがある。人口減少が全ての原因ではなく、多様な考え方時代の変遷、町外からの通勤者が多く、近接職住といったことが少ない本町の特徴なども影響している部分もあるうかと思う。



A 町長 人口減少が進んだ場合の具体的な影響の1つに、地域コミュニティの機能低下が挙げられ、町内会や自治会、消防団といった住民組織の担い手が不足し、共助機能が低下することにより、地域の防災力の低下も懸念されている。また、若年層の減少は、地域の歴史や伝統文化の継承にも影響を与え、地域の伝統行事などが続けられなくなるおそれがある。人口減少が全ての原因ではなく、多様な考え方時代の変遷、町外からの通勤者が多く、近接職住といったことが少ない本町の特徴なども影響している部分もあるうかと思う。

立ち入り規制が繰り返されることになれば救済措置が必要だ

町 — 当該住民や事業者の保護の支援策等について国や県などに整備充実を求めている



山田 和江 議員

Q 5月19日、箱根火山の噴火警戒レベル2に引き上げられ現在大涌谷へは立ち入りが規制されている。規制解除への今後の見通しと観光への影響は。

A 町長 気象庁は少なくとも今後1ヶ月は同レベルが続くとの見通しを明らかにしているがレベル引き下げの時期を見通すのは現段階では厳しい。箱根観光経済への影響は限定的なものに止まると捉えている。

Q 園地の事業者や観光事業者も立ち入り規制によって大きな影響を受ける。立ち入り規制が繰り返されることになれば何らかの救済措置が必要だ。

A 企画観光部長 このようなことは大変事業者にとってもリスクだ。町としても機会を捉え、当該住民や事業者の保護支援策等について国県等に整備充実を求めている。

Q 県や町も緊急融資を準備しているが、前借りて返済が未納の方もいる。利率を低くして借りやすくすることや税金の滞納だと借りられず、消費税の分納だけでも条件に抵触する。町はこの条件を外す考えはあるか。

A 観光課長 この財源は町民からの貴重な税財源であるので町税を滞納しているというのはいりお金を借りる上で最低クリアしなければならない条件だ。



Q さくら館の温水プールが天井板の改修工事です。10月から6ヶ月間閉鎖されるが代替施設の確保に取り組むべきだ。

A 町長 民間や町外の施設を利用していただきたい。

盛況!! 議会報告会



報告会の当日の状況

[5月31日 仙石原文化センター11名、6月3日 山崎集会所32名]

テーマ

[平成30年度町の取組について・令和元年度予算について・行財政改革について]

会場での主な意見

今回の議会報告会で出された主な意見は次の通りです。

- ・人口減少が進む中、自治会に加入しない住民の照明会費及び消防後援会費等の公平性について。
- ・人口減少と少子高齢化が止まらないが議会として対策を講じているのか。
- ・3小学校の統廃合。
- ・行政の説明と同じ、議会としてのチェック機能、役割を聞かせて頂きたい。

アンケート自由記入欄の意見

- ・議会議員の皆様に期待しております。行政への提言を積極的に行ってほしい。
- ・もっと案内を出して出席者が欲しい。 ・夕食時に9時まで長い。
- ・行政改革の取組は参考にさせて頂きたいと思います。町民の皆さんの意見も建設的で良かった。
- ・このような機会があれば、町民の町政に対する関心が高まると思います。今後とも宜しくお願いします。
- ・せっかく議会を身近に感じられる機会なのに、質問に対して不満げな表情を顔に出している方がいたのが残念でした。住民が質問しているのにそんな態度ならば、やらない方が良い。
- ・議会報告会だから仕方ありませんが、町民の発言者が限られ少ない。町民の声を聞く会、時間を取ってほしい。説明が長すぎる。答弁も長すぎる。
- ・大変ご苦労様でした。素晴らしい報告会でした。更に続けて下さるよう希望致します。
- ・固定資産税に頼らないように、また考えて下さい。箱根は固定資産税が高いと言われています。



今年もありがとうございました。
頂いたご意見等は、今後の議会活動に役立てていきます。



No.196議会だより(令和元年5月発行) モニターさんからのご意見

今年度より新規のモニターさんになりました。たくさんのご意見を頂戴しましたがすべて掲載できませんので特徴的なご意見を掲載いたしました。

【表紙の写真】

☆箱根の魅力で表紙を飾ることは、読みたい意欲を誘う。写真の場所が記載されているとよい

【予算関連記事】

☆もう少し詳しく、わかりやすい表記の方法、担当部署名などがあれば問い合わせをしやすいのでは

☆文字が多すぎて読みづらい印象、質問者の顔写真を入れるなど工夫してみてください

【定例会議案結果報告等】

☆議員の賛成・反対の理由が知りたい

【一般質問】

☆答弁者は町長なのか、それとも担当職員なのか記載があると良い

【全体として】

☆活字ばかりでは読む意欲がなくなるので、文字を少なく読みたくなる工夫は必要

☆読みにくい漢字は、フリガナを記載してほしい



モニターの皆様から頂いたご意見を参考に、これからも読みやすく興味の持てる紙面づくりに取り組んでいきます。
広報広聴委員会一同

議会改革等推進特別委員会 報告

箱根町議会議員政治倫理規程策定!!

この規程は、議員が自らの襟を正し、町民からの疑念を抱かれぬよう、議員活動を行う際に遵守すべき政治倫理について具体的に定めました。



5月17日 議会改革の視察をする福島県鏡石町議会

箱根町議会基本条例17条に、議員は町民全体の代表者としてその倫理性を常に自覚し、自己の地位に基づく影響力を不正に行使用することによって、町民の疑惑を招くことのないよう行動しなければならないと規定しています。

基本的事項を定めることにより、政治倫理の意識の向上を及び確立に努め、民主的な町政の発展に寄与することを目的に策定しました。

1,447議会が参加した早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査2018では、ランキングが前年より8ランク上がり、全国16位となりました。

これからも、全委員で積極的に調査研究を進め任期を全うできるよう、議会改革の推進に努めて参ります。

委員長 村野 由紀子

総務企画観光常任委員会 報告

5月29日に1点目を大涌谷の現状と対応について、2点目を消防職員の不祥事について会議を開催しました。5月19日に大涌谷の噴火警戒レベルが2となったことから、所管の委員会として現状と対応を把握しておく必要があるため、急遽委員会を開催しました。火山活動の現状については、それに伴う主な措置、大涌谷園地事業者の一時立ち入り、また今後の対応について詳細に報告を受けました。前回の教訓から、特に行政、住民、観光事業者等との正確な情報共有が何よりも必要で、安心安全を第一にしながら諸課題の一つずつ対応していただきたいと感じました。また、5月9日に消防職員が暴行容疑で逮捕されたことを当委員会としても大変重く受けとめ、事件の経過等を把握する必要があるため、説明を求めました。委員会には、消防長、消防次長、消防署長等が出席をし、会議冒頭には一連の不祥事について、各委員、また町民に対して消防長より謝罪が述べられ、その後、逮捕の経緯、逮捕後の対応について報告を受けました。消防当局にお



かれては、各委員からの発言等を町民の声と思い、また、それらの事柄を重く受けとめ、消防組織の再構築、教育を改めて図っていただき、住民に誇れる箱根町消防となるべく反省し、出直していただきたい旨を申し添えました。

また、7月18日には本庁舎空気調和設備整備工事の概要について説明を受けるため会議を開催しました。この工事は役場本庁舎の空調システムの更新を行うもので13カ月を要すると見込まれています。委員会としても、委員会の任期はありますが、進捗状況等を見守っていきたいと思います。

委員長 山田 成宣

教育福祉環境常任委員会 報告

6月7日、25日に今後の取り組みについて協議を行い、介護施設の視察や通学路の安全対策、社会福祉協議会の活動等について意見が出ました。7月5日、福祉課より介護の現状と社会福祉協議会について説明を受ける等、勉強会を開催しました。今後は、8月7日に社会福祉協議会、箱根リハビリテーション病院、あこもけあ箱根を視察する予定です。箱根町の介護の現状や課題など調査しながら、今後の活動に役立てていきたいと思っています。

7月18日、箱根町文化・スポーツ財団と意見交換会を開催しました。テーマは平成30年度事業の実施状況について、今後の事業の展望について等です。新理事長も迎え、体験事業活動などについて有意義な意見交



換をすることができました。また同日、総合保健福祉センター整備事業の吊天井改修工事の視察も行いました。この工事に伴い、6ヶ月間プールが休業となります。プールとは違い水中運動ではありませんが、仙石原公園にはバランスよく運動ができる健康遊具があります。心と体のリフレッシュと健康づくりのため、この機会にぜひ利用していただければと思います。

委員長 遠藤 秀則

トイレの現状と建設現場を確認



町内施設視察

去る5月10日、議会議員による町内視察を国の重要文化財である富士屋ホテル工事現場、来年開通予定の南足柄市と箱根町を連絡する県道731号線通称南箱道路並びに今年度建て替え工事を行う金時公園トイレを視察し、それぞれの場所にて質疑応答を行いました。

南箱道路入口付近で説明を受ける



南箱道路の入口



カクレクマノミ



ゴールデンアロワナ



ミシシッピニオイガメ

我が家の自慢

温泉地区 細川さん

親愛なる家族の一員左から、寒がりや「ヒーター」、観察好きの「ルック」、不動の自由人「ドンとカン」。元気に活動中!

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっている動物の名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送またはEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載) web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。

9月定例会の日程(予定)

本会議

8月28日(水)、9月3日(火)、6日(金)、9日(月)、10月2日(水)

決算審議

9月17日(火)、18日(水)、20日(金)

※ 8月21日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

～ 皆さまぜひ傍聴にお越し下さい ～

広報広聴委員会 委員長 稲葉親太郎 副委員長 川口延明
委員 勝俣公好・勝俣剛一・村野由紀子・折橋尚道